

# 二一八才安徽

## 你好安徽

2008年3月発行 第27号



安冲第2小学校訪問  
访问安冲第二小学



安徽省農業「一村一品」訪問団 歓迎夕食会  
安徽省农业“一村一品”访问团 欢迎晚宴



三聯学院で日本語を学ぶ学生たち  
三联学院里正在学习日语的学生们



淮南第十三中学校と高知南中学・高等学校との交流の様子をパネルで紹介  
(淮南市第十三中学校校舎前)  
介绍淮南十三中与高知南完全中学交流情况的图片展  
(淮南十三中教学楼前)

### 目

- 発展目覚しい中国・安徽省を訪問
- 友好と交流の新たな歴史を(連合高知)
- 安徽省(南部)一周サイクリング660kmの旅
- 安徽省の高校生、高知南中・高等学校を訪問
- 安徽省農業「一村一品」訪問団の来高
- 安徽省日本語ボランティア奮闘記②

### 次

- 访问飞速发展的中国安徽省
- 写下友好交流的新历史(联合高知)
- 环游安徽(南部)660公里自行车之旅
- 安徽高中生访问高知南初・高中
- 安徽省农村“一村一品”考察团来访高知
- 安徽省日语教师志愿者奋斗记②

# 発展目覚しい中国・安徽省を訪問

高知県・安徽省友好交流委員会  
事務局担当 中内 新子  
(財団法人高知県国際交流協会マネージャー)  
(中国語訳: 宋 璐)

「高知県行政訪問団」に参加して、平成19年11月26日(月)から11月30日(金)まで中国・安徽省を訪問しました。訪問目的は、これまでの交流の成果を踏まえ、安徽省と今後の交流について協議することと、高知大学と安徽大学との交流と連携を図ることで、安徽省との交流の幅を広げ今後の交流推進に資することでした。

初日は、安徽大学と安徽省外事弁公室を訪問しました。安徽大学では、黄学長と高知大学の遠藤副学長との間で「日本語教育センター開設に関する覚書」に調印し、来年度に高知大学に留学予定の学生が決まるなど、今後の更なる交流が期待されます。また、安徽省外事弁公室では、李主任と長瀬文化環境部長との間で、15周年記念事業や今後の交流等について協議が行われ、高知県としても相互にプラスになるよう更なる交流を約束しました。



「日本語教育センター開設に関する覚書」に調印(安徽大学)  
签署《关于设立日语教育中心的备忘录》(安徽大学)

二日目は、まず淮南市にある第十三中学校を訪問しました。校庭に展示された高知南中学校との交流の写真や手紙、



友好提携10周年記念碑  
(周園長(左)と長瀬部長)  
結好10周年記念碑前  
(周園長(左)と長瀬部長)

習字の書がこれまでの両校の交流の歴史を物語っていました。次に訪れた八公山地質公園では、高知県の民間団体(安徽省日中友好の森づくりネットワーク)が植樹した桜の木がしっかりと根付き、花開く春を待っているかのようでした。また、合肥植物園では、記念植樹や牧野植物園の研究員が造ったミニ日本庭園などを、周園長ほか関

係者の方々に案内していただき、新緑の季節には日中の両園に咲き乱れる花々や植物に思いを馳せました。

三日目は、高知県から2人の日本語教師が赴任している三聯職業技術学院を訪問し、日本語の授業を見学しました。当学院では約800人の学生が日本語を学んでおり、休み時間にも音読の練習をしている学生を見かけるなど大変勉強熱心です。中国のマンパワーの源を垣間見た気がしました。また、合肥市新区では、いたるところでマンション・ホテル等が建設中で、4年振りに訪れた安徽省の発展は目覚しいものがありました。玩具箱を覗き見るようにその変貌振りに驚かされます。驚きの箱は一体いくつあるのか…。

今回、我々訪問団は、訪問する先々で多大な歓迎をしていただき、安徽省の皆様のお心温まる歓迎に心から感謝しています。

平成21年度は高知県と安徽省が友好提携15周年を迎えます。これまでの交流で築いた信頼と友情を大切に、更なる交流を深めていきたいと思えます。

## 旅行日程

11月26日(月)	高知駅 松山空港 上海空港 合肥空港
11月27日(火)	安徽大学訪問 / 安徽博物館視察 安徽省人民政府外事弁公室と協議
11月28日(水)	淮南市第十三中学校訪問 淮南市の友好林地を視察 / 合肥植物園視察
11月29日(木)	合肥市新区視察 / 三聯職業技術学院訪問 合肥空港 上海空港 高知県上海事務所訪問
11月30日(金)	上海空港 岡山空港 岡山駅 高知駅

## 訪問 飞速发展的中国安徽省

2007年11月26日(周一)到11月30日(周五),我参加“高知县行政访问团”,访问了中国安徽省。此行的目的是在迄今为止的交流成果的基础上,与安徽方协商讨论今后的交流工作,并希望通过推动高知大学与安徽大学的交流和结好,进一步拓展交往渠道、巩固双方友谊。

第一天我们拜访了安徽大学和安徽省外事办公室。在安徽大学,黄校长与高知大学的远藤副校长签署了“关于开设日语教育中心的备忘录”,并决定从明年(2008年)向高知大学派遣留学生。衷心期待两校今后的友好交往不断深化。在安徽省外事办公室,外办李主任和长濑文化环境部长讨论了结好15周年纪念活动和今后的交流事项,高知县方面还表示将为谋求双方共同发展进一步推动友好交流。

第二天我们首先来到了淮南十三中。校园里展示着与高知南中学交流的照片、信件、书法作品,它们向我们讲述了两校的交流历史。接着我们参观了八公山地质公园,高知县民间团体(安徽省日中友好造林组织)在这里种下的樱花树已经根深叶茂,仿佛只等万物复苏的春天到来。

高知县・安徽省友好交流委員会

事務局担当:中内新子(財団法人高知县国際交流協会經理)

之后在合肥植物园,周园长及有关方面负责人带我们参观了纪念植树点和牧野植物园专家指导制作的迷你日本庭园,让我们眼前浮现出日中两个植物园春天里百花争艳、绿树荫荫的情景。

第三天,我们拜访了三联职业技术学院。两位从高知县派去的日语教师在那里工作。我们参观了日语授课。该学院约有800名学习日语的学生,即使在休息时间也能看到有学生在十分认真地练习日语发音。我们仿佛看到了中国人活力的源泉。另外,在合肥市新区,所到之处均可见到施工中的公寓或酒店,4年后的这次访问让我深刻感觉安徽的发展令人瞩目。我仿佛打开了一个魔术玩具盒,正为里面的千变万化而感到震惊。这样令人惊叹的盒子到底还有多少呢?

访问团此行在各地均受到了热烈的欢迎。衷心感谢安徽省各位朋友的热情款待。

2009年将迎来高知县与安徽省结好15周年。我们将珍惜双方之间建立的这份信赖和友谊,共同推动进一步的交流。

# 友好と交流の 新たな歴史を

連合高知事務局長  
間嶋 祐一

(中国語訳：宋 璐)

早いもので安徽省総工会との交流も9回目を迎えた。今回は2007年12月5日(水)～11日(火)の日程で連合高知各構成組織から6名が参加を行ない、新たな友好と交流を育くみ、その歴史に一ページを加えた。

総工会との意見交換では、安徽省の歴史・産業や文化、更には、国、企業、労働者の利益を守るための総工会の役割等の説明を受け、その後、日中両国のなかでも大きな問題となっている非正規労働者の問題等について論議を交わした。

また、世界遺産の黄山では、飛来石等、自然の偉大な力を見せつけられるとともに、雲海のなか、遠くに浮かぶ山々が本当に島のように見え、神秘的に思うとともにロマンを感じるスポットでもあり、ざわざわとした俗世界から一時タイムスリップをした気分であった。



合肥市杜主席からの記念品の贈呈(中央は夏安徽省副主席)  
合肥市杜主席贈送紀念品(中間是安徽省夏副主席)

今回の訪問地は、総工会との意見交換や企業訪問を行った経済特区の合肥をはじめ、世界遺産の黄山、そして歴史を感じる老街、そして村落の屯溪等、それぞれ中国を実感できる素晴らしいところであり、私たち一行にとって大満足の旅であった。



世界遺産「黄山」にて(中央が筆者)  
在世界遺產—黄山(中間為筆者)

私は、安徽省訪問は二度目となるが、前回もお世話になった夏副主席や呉国際担当に旅行中同行していただき、ますます友好が深まったところである。

今年は10回目の節目であり、安徽省総工会の朋友を受け入れることとなるが、今から楽しみにしているところである。

また、来年は安徽省総工会と連合高知が友好交流協定を締結して10年の節目を迎えるとともに、連合高知発足20年になる。

「子々孫々の友情の大きな節目に」と願っているところである。



安徽省総工会との意見交換  
与安徽省总工会交换意见

## 写下友好交流的新历史

一转眼我们迎来了和安徽省总工会的第九次交流。此次从联合高知各个构成组织派出六名成员参加了2007年12月5日—11日的访问，为友好交流的历史添上了新的一页。

访问日程中安排了与总工会的会谈和对合肥市经济特区的企业视察，还参观了世界遗产黄山、充满历史氛围的老街、屯溪的古民居村落等等，在这些富有特色的地区我们从不同角度感受到了真实的中国，深感获益匪浅。

在与总工会的会谈中，听取了关于安徽历史・产业・文化等方面的介绍，还了解了总工会为保护国家、企业以及劳动者的利益所作的工作。之后我们就日中两国现在都面临的临时工这个大问题进行了讨论，彼此交换了意见。

联合高知事務局長 間嶋 祐一

在世界遗产黄山上，飞来石等处让我们感受到大自然伟大的力量，云海中远处缥缈的群山仿佛变成了海岛，神秘中透出浪漫。一时之间我们恍若乘坐时光机器远离了这喧闹的俗世。

这是我第二次访问安徽，有幸和上次照顾我们的夏副主席以及国际事务担当的吴先生再次同行，双方的友谊也更加深厚。

今年的第十次交流活动中，我们将迎来安徽省总工会的朋友，我从现在就开始有点等不及了。

明年是安徽省总工会和联合高知结好十周年，也是联合高知成立20周年。

衷心期望这能成为双方友谊中新里程的里程碑。

# 安徽省(南部)一周サイクリング



30km/h超!屯溪 歙県  
时速 30 公里以上!屯溪→歙县

<黄山 蕪湖 合肥 315km>

イタリア、台湾、日本の自転車輪タクを横目にスイスイ。道行く人がふり返ります。そう、僕らが「高知中央高校国際自転車倶楽部」です。自画自賛と言われても、本当にクールなんです。

違和感と言えば、6年ぶりに訪問した大位小学校です。入口が分かりません。学校のある前園村が都市に変貌していました。でも学校交流は任せてください。新鑑真号で練習した風船芸術で、風船を『鼠』『麒麟』『鰐』に変身させ、すっかりヒーローです。こんな調子で、熱い青春の旅が屯溪からスタートしました。



歙県(石牌坊群)観光  
参观歙县牌坊群

4日、宣州揚子江ワニ養殖場、5日、涇県紅星宣紙工場を見学して蕪湖に到着です。蕪湖では「朋あり、遠方より来たる」ということで、今年も人民政府から招宴に与り、子どもたちは大喜びです。鉄山賓館の味が今でも忘れられません。

6日、今回最大の山場(蕪湖 合肥の峠越え)を征服し、

06高知 安徽省サイクリング700kmの旅が好評で、全長1200kmの一周コースを今回は、神戸(新鑑真号) 上海(バス) 安徽省旅のお話は、8月3日に大位小学校

感極まって悪路に挑戦したものの完全に挫折です。結局19kmしか走れず全員意気消沈。目標の800km走破の夢がぼろぼろと崩れてゆきました。

<合肥 安慶 黄山 345km>

7日、安慶飯店で合流した高知希望工程基金会の皆さんの案内で安沖小学校へ。この村も6年ぶりに再訪です。村は発展し、アヒルや豚の歓迎もなくなっていました。

小学校で披露したのは、新聞紙に水を入れて、その水が消えるマジックです。

「日本の新聞紙はね、水をすぐ吸収して乾燥するんだよ。ほらね。」

最後まで信じてくれた村の純朴な子どもたち。

「奇術師か詐欺師か?この良心の呵責にどこまで耐えられるのだろうか。」



安慶 東至サイクリング  
安慶→东至 自転車越野

そう呟きながら、(舒城 桐城)走り続けるのでした。

8日、111km(桐城 東至)のロングライドです。途中、安慶の迎江寺(振風塔)からの長江の眺めは絶景でした。夜は、『石鷄』料理に舌鼓です。

## 环游安徽(南部)660公里自行车之旅

06年高知-安徽700公里自行车之旅反响颇佳，因此07年我们又策划了环游安徽(南部)的自行车越野活动。这次旅行用自行车和汽车在一个星期内完成了全长1200公里的线路。从神戸(新鑑真号)→上海(汽车)→进入安徽省黄山市(屯溪)。旅途的故事要从8月3日访问大位小学说起。

<黄山→蕪湖→合肥 315km>

イタリア、台湾、日本産の赛车如行云流水般超过一輛輛三轮车。街上的行人纷纷向我们注目礼。没错，我们就是“高知中央高中国际自行车俱乐部”。虽然有点自卖自夸，但是真的很酷哦。

要说有什么意料之外的，那就是相隔6年再次看到的大位小学。学校的入口找不到了。学校前面的村庄变成了城镇。不过学校交流可不会受什么影响，看我们的吧。运用在新鑑真号上练习的吹气球技术，我们把气球变成“老鼠”“麒麟”“鰐”。表演大获成功，我们也变成了孩子们眼中的英雄。乘着这股好势头，火热的青春之旅从屯溪开

始了。

4号参观了宣州揚子江鰐鱼养殖场，5号参观了涇县宣紙工厂后抵达蕪湖。在这里我们作为“有朋自远方来”的远方客人，今年再次受到人民政府的热情招待，孩子们也十分高兴。鉄山賓館的美味至今无法忘怀。

6号，穿越全程最长的山路(蕪湖→合肥的山崖)、也是向此行最险恶的一段挑战的决心被彻底挫败了。实际上还没走到19公里队员们就全部垂头丧气了。突破800公里目标的梦想也付诸东流。

<合肥→安慶→黄山 345km>

7号，在安慶飯店与高知希望工程基金会的各位会合后，在他们的带领下向安沖小学校进发。这个村子也有6年没来了。村庄经济得到了发展，不过不再有鸭子和猪出来欢迎我们了。

我们在这个小学表演了魔术，用报纸装水，水却消失不见了。

我们对孩子们说：“这是因为日本的报纸啊，能把水马上吸干哦。看!”

# 660kmの旅

高知中央高等学校 校長 前田 正也 (当委員会会員)

07年は安徽省(南部)一周サイクリングを企画しました。

、自転車とバスで回る旅です。

安徽省というルートで黄山市(屯溪)に入りました。

を訪問したところから始まります。

(中国語訳: 宋 璐)

でもS君の一言でお箸がピタッと止まってしまいました。

「この鳥の皮、カエルに似いちゅうねえ。」

(ピンポン! 石鶏とは、安徽省の食用ガエルのことです。)

9日、永豊小学校 東至 40km、炎天下の逆風を受けてサイクリングです。昼食後、時間を考えて東至 蓬萊仙洞(石台) 80kmをバス移動しました。蓬萊仙洞は安徽省有数の鍾乳洞です。天然冷房の中、電飾に彩られた千変万化の鍾乳石を1時間観賞して下界に帰ってきました。



永豊小 東至サイクリング  
永豊小学→东至 自行车越野

10日、晴天の中、三つの峠を越え世界遺産認定の宏村へ。古民家群の徽州文化に土産文化が加わった宏村観光を終れば、いよいよラストランです。宏村 西通(世界遺産公路)はマウンテンバイク世界大会の競技公



宏村(世界遺産)見学  
参观世界遗产—宏村

路で、中国一の舗装路です。時速40kmのスピードで一気にならば、サイクリスト冥利に尽きるというものです。

夜7時、休県の街中で安徽省(南部)一周サイクリングの旅が終わりました。



安徽省南部一周サイクリング660km完走!  
圓滿結束環安徽省南部一周660km自行車越野行程!

連日気温38度、湿度75%の炎天下、悪路、逆風、峠、パンク13回(交換タイヤ5本)を乗り越えたサイクリング(5人)660km、バス移動(記録者1人+7日~高知希望工程基金会スタッフ3人)500kmの

旅でした。

そして、道端トイレで30匹の蚊がK君のお尻を襲撃するというハプニングに遭遇した旅でもありました。

今回で20数回を数える安徽省訪問ですが、いつも至福の達成感と爽快感が私たちを包んでくれます。だからやっぱり楽しいし、夢も思い出も感動もいっぱいです。

子どもたちもそんな気持ちを正直に口にしてくれました。「校長、また安徽省を走りましょう!」 以上

朴实的山村の孩子们毫不怀疑的相信了我们。

我们在继续前行(舒城→桐城)的路上,在心里惭愧地自言自语:“我们算是魔术师还是骗子啊?这良心的谴责能承受多久呢?”

8号完成了111公里(桐城→东至)的长途跋涉。途中在安庆迎江寺(振风塔)远眺长江的景色真是一绝。晚上,则是为美味的“石鸡”大菜而咂舌。不过因为S君的一句话我“啪”地放下了筷子。

“这个鸡的皮,很象青蛙阿”

(宾果!石鸡其实是指安徽养殖的一种食用蛙。)

9号从永丰小学到东至的40公里,是流火夏日中顶着逆风的征程。中饭后,考虑到时间我们决定乘车完成从东至前往蓬萊仙洞(石台)的80公里路程。蓬萊仙洞是安徽屈指可数的鍾乳洞之一。我们在天然空调中用一个小时观赏了用彩灯装饰的千变万化的鍾乳石后,又回到了凡间。

10号在炎炎烈日下,我们翻过三座山坡奔赴世界遗产—宏村。参观了古民居群落的徽州文化加土特产文化后,就剩下最后一程了。宏村→西递(世界遗产公路)是世界

山地车大赛选用的公路,也是中国数一数二的柏油公路。

我们用40公里的时速一口气冲了下去,可谓如有神助。

晚上七点,我们在休宁县城胜利结束了自行车环游安徽(南部)之旅。

在这次旅程中,我们面临连日气温高达38度、湿度75%的炎热、路况差、逆风、山崖、爆胎13次(换胎5支)等诸多困难并将其一一克服,(5人)乘自行车行进了660公里,(记录1人+7日加入的高知希望工程基金会工作人员3人)乘汽车行进了500公里。

此外旅途中还出现了小插曲,K君的屁股在路边的厕所遭到了30只蚊子的袭击。

算上这次,已经去过安徽20多次了。每次都会沉浸在无比的成就感和轻松愉快的心情中。所以还是要说,很开心,充满了梦想、回忆和感动!

孩子们也毫不掩饰这样的心情说道:

“校长,下次还去安徽骑车哦!”

高知中央高等学校校长 前田 正也(本委員会会員)

# 安徽省の高校生、高知南中・高等学校を訪問

(中国語訳：宋 璐)

今年度から5年間にわたり、東南アジア諸国連合や中国・インドなど15カ国の生徒を毎年6,000人受け入れる、外務省の「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、昨年11月15日に高知県と関係が深い中国・安徽省の高校1・2年生18人が引率の先生2人と一緒に、高知南中学・高等学校を訪問しました。



華道体験  
体験插花艺术



歓迎式で詩の朗読  
欢迎仪式上的诗朗诵

一行は、11月13日に来日し、オリエンテーションを受けたり、外務省を表敬訪問したあと、15日に高知入りしました。午前中に桂浜などを見学して、午後、高知南中学・高等学校を訪問してくれまし



国際教養科2年生と交流授業  
和国际教养科2年级学生上交流课

た。短い時間でしたが、本校の茶道部や華道部と交流して日本の伝統文化を体験したり、中国語を選択で学習している国際教養科3年生の案内で校内を見学したり、国際教養科2年生と中国語で交流するなど、楽しく濃密な時間を過ごしました。特に、国際教養科の生徒との交流授業では、中国語と英語を駆使してお互い積極的にコミュニケーションをとりあい、日中の高校生があっという間に仲良くなり

ました。また、放課後の全校生徒による歓迎会では、日本語のスピーチだけでなく、美しいフルートの演奏にのせた詩の朗読や合唱などを披露してくれました。

15日の夜は、南高校生や教職員の家庭にホームステイしました。最初はぎこちなかった訪日団の生徒さんたちも、それぞれの家庭のもてなしのおかげですぐに打ち解けて、楽しい一夜を過ごしたようです。翌朝の出発時もホスト生とは別れ

がたく、泣き出す生徒さんもあり、バスの出発も当初の予定よりずいぶん遅れるほどでした。ホームステイは高知滞在のなかで最大の思い出になったようです。

今回の訪問は余りにも短かったので、日本の学校や家庭生活について十分体験する時間がなかったかもしれません。次回は是非ゆっくり日本を訪れて、もっともっと深く日本を知っていただきたいと思います。

## 安徽高中生访问高知南初・高中

从今年开始的5年内，我国外务省实施“21世纪东亚青少年大交流计划”，每年从东南亚各国和中国・印度等共计15个国家邀请6000名学生访问日本。作为这个计划的环节之一，去年从与高知县渊源甚深的中国安徽省派出了高中一、二年级学生18人，他们和两名带队老师一起访问了高知南初・高中。

访问团一行于11月13日抵达日本，在接受培训、拜访外务省之后于15日来到了高知。上午他们参观了桂滨等地，下午就到了高知南初・高中。虽然在这里的时间很短，但是他们通过与我校的茶道部和花道部交流体验了日本文化，在选修中文的国际教养科三年级学生的陪同下参观了校园，并且和国际教养科二年级学生进行了中文交流，度过了亲密愉快的时光。特别是在和国际教养科学生的交流

课上，大家积极运用中文和英语来沟通，日中高中生之间的关系一下子就亲近起来。在课后的全校师生欢迎会上，他们不仅用日语致词，还在美妙的长笛伴奏下表演了诗朗诵、合唱等精彩节目。

15日晚，学生们在南高中的学生或教职员的家里作住家访问。据说即使是最初比较拘谨的学生，在日本家庭无微不至的招待下，也很快和对方打成一片，度过了非常愉快的一晚。第二天出发的时候他们与日方的学生依依不舍，有人甚至哭了起来，以至于大巴出发的时间比预定推迟了不少。住家访问可能是他们在高知期间最难忘的回忆。

这次访问团的行程非常短暂，可能没时间充分地体验日本的学校和家庭生活。衷心希望他们能再次来访，并安排更多的时间来更深更好的了解日本。

# 安徽省農業「一村一品」訪問団の来高

高知県国際交流課 主任 **西野 美香**  
(中国語訳: 宋 璐)

安徽省は現在、農業を強化することにより農村繁栄、農民の生活を豊かにする「新農村建設」に取り組んでいます。

2006年4月にも農業訪問団14名が来高されましたが、今年は、高知の特色ある農業や「一村一品」などの取組みについて視察を目的として、農業委員会特色農産品開発処の田文釗副処長を団長とする農業「一村一品」考察団一行6人が、平成19年11月8日から10日まで、2泊3日の日程で来高しました。

馬路村農協のゆず加工場を視察  
高知県内の特色のある農業という  
ことで、今回は馬路村農協のゆず  
加工品について視察していただく  
ことにしました。高知市内から馬路  
村までは、太平洋の海岸線をご覧  
いただいたかと思うと、安田川沿  
いのくねくね山道を通るコース  
で、山あり川あり、海ありの高知  
県の自然を実感していただくこと  
になりました。



馬路村農協の歓迎  
在馬路村农协受到热情欢迎



馬路村農協・山崎課長補佐(左から3人目)と記念撮影  
与馬路村农协课长辅佐山崎先生(左三)合影留念

約2時間で馬路村に到着し、早速、平成18年に完成したゆずの森新加工場の視察です。「ごっくん馬路村」を試飲しながら

ら営農販売課の山崎課長補佐に集荷から製品化、販売までの過程などについて説明していただきました。訪問団の皆さんは、小さな村の農協の販売高などに感心しつつ、農協の組織や事業、組合員との関係について熱心に質問されていました。

## 産直市場と地産地消

午後は「キラメッセ・室戸」で、安芸農業振興センターと室戸市の農業の概要について説明していただきました。

ここでは、農地の整備などに対する行政の補助や国、県、市町村の役割分担などについて興味深く聞かれました。実際の具体的な数字資料は、帰国後にとっても参考になるとのことです。



「キラメッセ・室戸」で安芸農業振興センター、室戸市から事業概要説明  
在室戸农产品样品市场听取安芸农业振兴中心和室戸市方面作概况介绍

室戸市さんのご好意で「鯨館」も見てください。あと、「楽市・楽座」で産直市場をご覧いただきました。ここでは、農産物だけでなく水産物もたくさん売られていますが、食べ方を尋ねながら魚の干物を購入された方もいました。高知県産品のお買い上げ、ありがとうございました。

今回の訪問団の日程も、前後は移動日で実際は中1日だけの短いものでしたが、目的の農業事情はもちろん、高知の自然も駆け足で見させていただくことができました。

## 安徽省农村“一村一品”考察团来访高知

为促进农业发展，安徽省目前正在积极致力于旨在繁荣农村、提高农民生活水平的“新农村建设”运动。

2006年4月曾有安徽农业访问团14名成员来访，今年为考察高知富有地方特色的农业和“一村一品”工作，该省再次派出了以农委特色产品开发处田文钊副处长为团长的农业“一村一品”考察团6人，于2007年11月8日到10日在高知作了两晚三天的访问。

### ■考察馬路村农协的香橙加工工厂

考虑到希望考察具有地方特色的农业这一要求，我们安排客人参观了马路村农协的香橙加工企业。从高知市内到马路村的路上，不仅可以领略太平洋海岸的风景，在安田川沿岸蜿蜒的山路上，也可以让客人充分领略高知县集山川、海洋、清流于一身的自然美景。

经过大约两小时的车程后考察团抵达马路村，参观了2006年新落成的香橙之林加工工厂。团员们一边试饮“咕嘟咕嘟马路村”香橙汁，一边听取农业营业销售课的山崎副课长的汇报。山崎副课长详细为大家说明了香橙从收购、加工成品到销售的

高知県国際交流課 主任: 西野 美香

过程。考察团的成员对一个小小村庄的农协能够取得如此之高的销售利润表示十分敬佩，并就农协的组织构成、企业与农协会员之间的关系等提出了很多问题。

### ■农产品直销市场和地产地销

下午在“室户农产品样品市场”，考察团听取了关于安芸地区农业振兴中心和室户市农业的情况介绍。大家对国家、县、市町村在农地开垦和维护工作中的责任分担以及费用的行政补助等问题表现出浓厚的兴趣，说是这里了解到的具体数字资料对回国后的有关工作很有参考价值。

承蒙室户市有关方面的关照，还特别安排考察团一行参观了“鲸鱼馆”和“乐市·乐座”直销市场。在这里不仅有农产品，还有很多水产销售。有的团员好奇的询问了水产品的烹调方法，还买了一些海鱼的干货。谢谢大家捧场啦！

这次来访的行程算上往返移动的时间，在高知只有一天的参观，十分短暂。好在考察团一行不仅在农业方面达到了预期的考察目的，还见缝插针地领略了高知美丽的自然风光。

# 安徽省日本語ボランティア奮闘記 ②

片岡沙文 (中国語訳：朱 熔 元県国際交流員)

安徽省合肥市にある三聯学院にやってきたのは2007年9月。40人も目の学生の前で授業するのは3年前の教育実習以来だった。そのため、初授業の1週間前から、寝ても覚めても授業のことばかり考えては、そわそわ。



3年生との最後の授業(右から2番目が筆者)と三年級学生上最后一課(右二が筆者)

いよいよ初回の授業が始まった。私の緊張は人生で3番目にランクインするほどのピークに達していた。80目の目が私を見ている...恥ずかしい...なんて思ってる場合じゃない!何か話さなくては!!とやっと正気に戻り自己紹介をすることに。

ぞこちないながらも私の自己紹介を終え、学生の自己紹介の番になった。



同じく3年生と撮ったもの同上、与三年级学生的合影

さっきまであった緊張も、一生懸命日本語で話をしようとする学生の姿を見ているうちに、いつの間にかほぐれていた。恐るべし学生パワーだ。

そんな学生たちから、時々予想外の質問を受ける。「どうして日本の正月は爆竹を鳴らさないのですか?」「『借りられるんですか?』と『借りられますか?』の違いは何ですか?」など、今までに考えたこともない質問攻撃に、あたふた。いつも辞書を手放すことができない。こんなに辞書を愛用したことは今までに一度もない。かといって、答えがすべて辞書に載っているわけではない。そういう時は相棒の川村先生と一緒にああでもない、こうでもないと推測し、いつも「日本語って難しい。」という結論に至る。と同時に、言葉なんてコミュニケーションの一道具にしか過ぎないと思っていたが、その言葉の裏にはそれぞれの習慣や文化があり、それを大切に思う心、他人を思いやる心があって初めてコミュニケーションが成立するんだと感じるようになった。上辺だけのコミュニケーションでは、決して知ることができない日本語の奥深さがあり、同じように他の言語も表面だけでは知りえないことがたくさんあるのだろう。それを知る楽しさを学生と共有できたらいいなと思う。



いつもお世話になっている学校の先生のお宅で中国の餃子を作る(右奥が筆者)

在一直对我们大力关照的老师家里做中国的饺子(右后为笔者)

## 安徽省日语教师志愿者奋斗记②

片岡 沙文

2007年9月、我来到安徽省合肥市的三联学院当日语教师。站在40个学生面前讲课这事还得追溯到3年前的教育实习。因此，在开始准备讲课的前一周，总是坐立不安，不用说白天了，就连晚上我也一直想着讲课的事。

这个令人紧张、激动的时刻终于到来了。这是我有生以来的第三次，当80只眼睛同时看着我时真是感到非常的害羞……心里想“我必须得说点什么!”……终于神志清醒过来了，才开始作自我介绍。结结巴巴地介绍完自己的情况后，接下来轮到学生们进行自我介绍了。当看着学生们努力地用日语说话的样子时刚才紧张的窘态也在不知不觉中平定下来了。啊!学生的力量真是不可思议!

学生们经常会问我一些令人意想不到的问题。例如“为什么日本的正月不放爆竹?”、“‘借りられるんですか?’

和‘借りられますか?’有什么不同?”等等，当被问到这种目前为止我一次也没考虑过的问题时，心里非常紧张，以至于现在手上总离不开字典，像这样如此爱用字典的情形迄今为止一次也没有过。尽管如此，并非所有的答案字典中都有。当字典中找不到答案时，我就和同事川村老师一起仔细推敲“啊!这样解释好像也可以，那样理解呢也对……”，最后总是得出“日语真难!”的结论。

在这短短的时间内使我感到语言并不仅仅是交流的一个工具，语言的深层次背后蕴涵着各自的风俗习惯和文化，只有真正了解、理解它的重要性，并且拥有一颗对他人的爱心，才能建立真正意义上的交流。世界上任何语言也应该和日语一样，表面上的交流决不能洞悉语言所蕴涵的深刻内涵。但愿能和学生们分享这其中的乐趣。

## 発行：高知県安徽省友好交流委員会

事務局 〒780-0870 高知市本町4-1-37  
高知県国際交流協会内  
Tel / 088-875-0022 Fax / 088-875-4929  
E-mail / info\_kia@kochi-kia.or.jp  
Homepage / http://www.kochi-kia.or.jp/

## 【編集後記】

中国語の翻訳を担当された宋璐さんが帰国されることになりました。1年間大変お世話になりました。帰国後も高知県と安徽省の架け橋となり、友好の輪を広げていって欲しいと思います。